科目名	運動機能評価学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
作業療法を行うものにとり運動器の熟知は必須である。身体障害分野における代表的な評価方法である徒手筋力検査法（MMT）の技術を身につける。							
〔授業全体の内容の概要〕							
骨の隆起や筋の触察を通じて、筋の起始・停止を学習し、筋の収縮により、その時の運動の方向性を知り個々の筋の収縮と運動の関係を学習する。その上に立って、身体障害作業療法における評価法の一つである徒手筋力検査法（MMT）を実技学習していく。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
筋触察の指標となる骨の隆起を体表より触知でき、代表的な表層の筋について触察できる。評価方法である徒手筋力検査法（MMT）を正しく実施することができる。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション・MMT 評価方法・原理						
2	筋の起始・停止						
3	MMT（上肢）						
4	MMT（上肢）						
5	MMT（上肢）						
6	MMT（上肢）						
7	MMT（上肢）						
8	MMT（上肢）						
9	MMT（下肢）						
10	MMT（下肢）						
11	MMT（下肢）						
12	MMT（下肢）						
13	MMT（頸部・体幹）						
14	MMT（頸部・体幹）						
15	MMT（手指）						
16	MMT（手指）						
17	MMT（手指）						
18	MMT実技テスト						
19	MMT実技テスト						
20	MMT実技テスト						
21	MMT実技テスト						
22	MMT実技テスト						
23	まとめ						
定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
新・徒手筋力検査法		HelenJ. Hislop他		協同医書			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする							